

法人 げせんぬま ニュース

No.157
2021.1.15

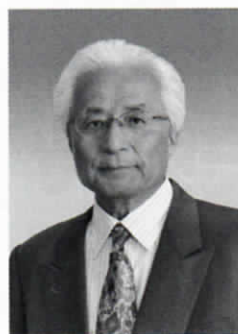


北野神社

新年の挨拶	2
行動する「法人会」	4
難局突破の要諦 組織の力を高めることにある	6
アフターコロナの経営	8
納税表彰・税制改正要望陳情・女性部会事業活動	10
新春講演会のご案内	11
謹賀新年	12

新年の挨拶

公益社団法人気仙沼法人会 会長 熊谷 光良



明けましておめでとございます。

日頃より役員をはじめ会員皆様のお力添えで滞りなく会を運営させていただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスに始まり、その感染拡大に終始した印象ばかりが強い年となつてしまいました。未知のウイルスが瞬く間に世界中に蔓延し、まさかオリンピックまでが延期になるとは想像すらしていませんでした。

未だに収束する気配は見られませんが、明るい兆しとして海外ではワクチンの投与が昨年末から始まり、国内においてもワクチンの

研究が進んで三月頃から治験が始まると報道されております。一日も早く実用化され、コロナが終息することを願うばかりです。

また、昨年末はGOTOトラベルの実施により景気も回復するかと思われましたが、年の瀬になってからの急な中断によりブレーキがかかりました。

長期に亘った安倍政権から菅政権へと政策はバトンをタツチされましたが、行政には感染防止と経済対策等のバランスをとりながら、引続き実行性の高い景気回復策を推し進めて欲しいものです。

当地域の基幹産業である漁業関係においては、気仙沼魚市場でカツオの水揚げ高が二十四年連続日本一となりました。漁獲量は減少傾向にありますが、震災の年でも途絶えることなく、全国一位を維持している漁業関係者の方々のご努力に

対し敬意を表すとともに、今年においても記録を伸ばして欲しいと思います。気仙沼市内では気仙沼湾横断橋が完成時の姿となり、新たな内湾の風景を見るまでになりました。

そして三陸道の「津谷小泉」が開通し「気仙沼」仙台」が一本で繋がりました。交通網の整備によりさらに復興が進むことを願っております。

法人会で例年行っている税制改正要望陳情の際には復興活動への行政の支援はもとより、コロナ禍での経済対策についてもお願いしてまいりました。今後も中小企業の声を届けていきたいと思っております。

また、法人会では企業の経営支援や人材育成のための各種セミナーや講演会を開催しており、実務に即した幅広いジャンルを学ぶことができます。

今年二月には松下政経塾

元塾頭の上甲晃氏を講師に招き、新春講演会の開催を計画しております。

上甲氏は「経営の神様」と称される松下幸之助氏から薫陶を受け、その教えを実践されている方で、現在は志の高い人材を育てようという人間教育の場を主宰するとともに全国各地から招かれて講演活動も行い、震災前から当市をご存知の方です。

震災から十年の節目を迎える今年、皆様にエールを贈る講演会にしたいと考え、お待ちしておりますので、多くの方々に聴講していただきたいと願っております。

公益社団法人としての使命を果たすべくさらに事業を発展させるためには、財を盤を確立し仲間を増やして広く法人会活動を世間にもアピールすることが重要

です。会員の皆様におかれましては、お知り合いで未加入の方がおられましたら法人会への入会を強く働きかけていただければと思っております。

これまで法人会を支え続

けていただいた方々の志を絶やすことなく、これからも公益的な事業を展開し、社会的信用度の向上に努めてまいりたいと思っております。ご協力賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍によって社会は二極化の波にさらされている今、私たちは地域社会の力が試されていると思っております。震災時にたくさんの方が与えてくれた「絆」の教訓を思い出し、苦勞している方に誠実に手を差延べる「利他の心」を広げてまいりましょう。

今年の干支は「丑(うし)」で「誠実さ」を象徴しています。また「丑」の文字は「我慢(耐える)」や「発展の前振れ(芽が出る)」を表すとも言われていきますので飛躍に繋げる一年にしていききたいものです。

これから寒さも益々厳しくなりますので、健康管理にご留意ください。

会員皆様方の御健康と企業の御繁栄を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶

気仙沼税務署 署長 中野 英吉



令和三年の年頭に当たり、気仙沼法人会の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

熊谷会長はじめ役員並びに会員の皆様には、税務行政全般にわたり深いご理解とご協力を賜っておりますことに心から御礼申し上げます。本年も引き続き格別のご高配を賜りますようお願い致します。

今年は震災からちょうど十年という節目の年になります。未だ工事を行っているところはあるものの、防潮堤・住宅・商業施設等かなりの部分が整備され、この春には気仙沼湾横断橋の開通を含め三陸沿岸道路も仙台市から宮古市まで繋が

ることとなります。この間、法人会の皆様には事業再生等の厳しい状況の中、会の基本理念に則り活発な活動を継続してこられました。

特に昨年は新型コロナウイルスの拡大が地域経済に大きな打撃を与えた年でしたが（未だその影響が継続している状況であります）、感染拡大防止対策を講じた上で納税意識の高揚を目的とする小学生に対する租税教室や税金クイズ、税知識の普及を目的として会員に対する決算説明会や年末調整説明会の開催等を積極的に実施してこられました。

会員の皆様のご努力に対しまして改めて敬意を表する次第です。

私どもは、申告納税制度の下「納税者の自発的納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という使命を達成すべく税務行政を運営

しておりますが、この税務行政を取り巻く環境は経済取引の国際化・ICT化等により一段と複雑・困難化しています。

このような中、私どもの定員事情は厳しく限られた人員で運営せざるを得ない状況にあり、使命を達成するには皆様のお力添えが必要不可欠なものでありますので、今後より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、あらゆる場面でソーシャルディスタンスの確保が求められています。これは例年、二月十六日から税務署に開設している所得税の確定申告のための申告書作成会場も同様です。

そのため今年は一時間当りの相談人数を限定し、それを越えた場合は他の時間帯で対応させていただくこ

ととして、来場者に入場整理券を発行する運営を行うこととしております。

さらに例年税務署で申告いただいた年金受給者等の高齢者を中心に、二月三日（水）から会場を開設して相談を行うことで期間中の来場者の平準化を図ることとしております。

納税者の皆さんには自ら新型コロナウイルス感染防止を積極的に行うという意識の下、ご自宅から電子申告して頂きたいと思っております。

国税のe-Taxは、国税庁HPの「確定申告書等作成コーナー」から利用できますが、パソコン以外のスマートフォンからも利用可能となるなど、利便性が大変向上しております。

法人会の皆様には、是非ご自宅からのe-Taxの利用をお願いするとともに、ご家族・知人等で確定申告している方がおられましたらe-Taxを推奨して頂きますようよろしくお願い致します。

新型コロナウイルスの拡大は行政や企業など社会全体に対す

る課題の一つとしてデジタル化・オンライン化等への対応を投げかけました。

税務手続きについては従来から申告手続き以外でも納税手続きや各種申請手続き等について電子的手法で行うことができるようになっておりますが、未だ一般的な手段として定着しておりません。

これを機に納税者の皆様には電子的手段を一般的に利用していただけるよう、今後も広報等の充実を図っていきたくと考えておりますので法人会の皆様にもご支援・ご協力をお願いいたします。

今年は東京五輪の開催や気仙沼を舞台としたNHK「おかえりモネ」の放映もあり、その経済効果も含め明るい話題が多い年です。気仙沼の地域経済が飛躍的に向上することを期待しているところであります。

最後になりますが、気仙沼法人会の益々のご発展と会員企業のご繁栄を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

行動する法人会



— 令和3年度税制改正に関する提言 —

全法連では、令和3年度税制改正に向け、政府・政党に対して提言活動を行いました。

自民党

予算・税制等に関する政策懇談会（税務・中小企業）
11月5日

財政・金融・証券関係団体委員長

古賀 篤 氏 他



公明党

税制改正要望等ヒアリング
11月17日

財政金融部会長 太田 昌孝 氏 他



立憲民主党

会派 財務金融部会 税制改正要望ヒアリング
11月18日

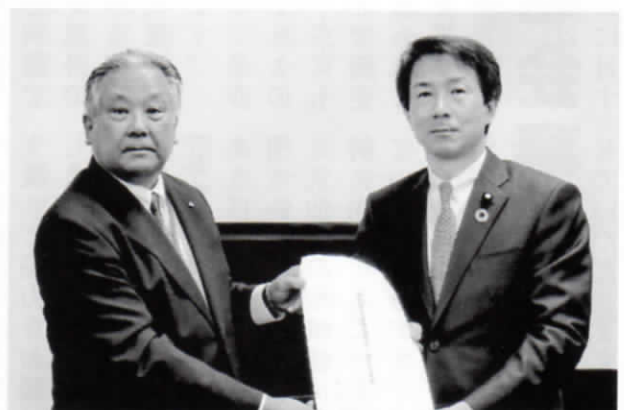
財務金融部会長 牧山 ひろえ 氏 他



国民民主党

11月19日

税制調査会長 大塚 耕平 氏



左から 田中税制副委員長、大塚税制調査会長

財務省

10月14日

財務副大臣 中西 健治氏



左から 田中税制副委員長、中西副大臣、飯野税制委員長、松崎専務理事

国税庁

表敬訪問 11月26日

長官 可部 哲生氏
次長 鏑水 洋氏
課税部長 重藤 哲郎氏



右手前から重藤課税部長、可部国税庁長官、鏑水次長
左手前から飯野税制委員長、小林会長、松崎専務理事

総務省

10月19日

自治税務局長 稲岡 伸哉氏



左から 松崎専務理事、飯野税制委員長、稲岡自治税務局長、田中税制副委員長

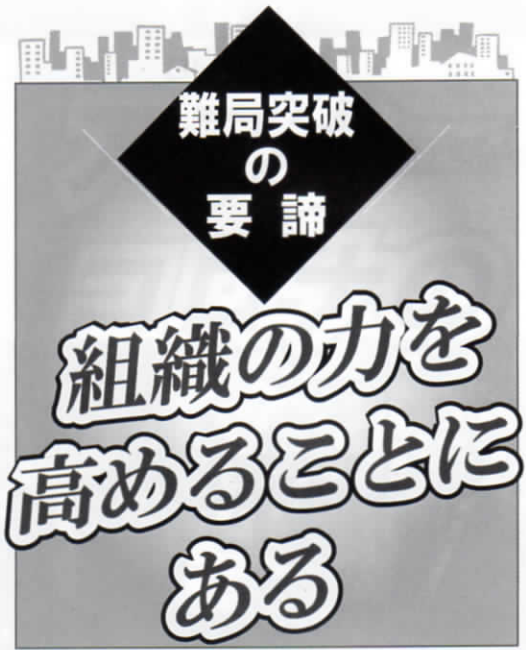
中小企業庁

10月21日

長官 前田 泰宏氏
事業環境部長 飯田 健太氏



右から 飯田事業環境部長、飯野税制委員長、松崎専務理事、田中税制副委員長



経営評論家 疋田文明

世界中の国々が、新型コロナウイルスによって、厳しい試練に直面している。経営の世界を「フィールド・ワーク」するようになって40数年になるが、この間には外的要因によるショックが何回もあった。

「1971年、ニクソン・ショック」「1973年、オイル・ショック」「1985年、プラザ合意後の円高不況」「1993年、バブル崩壊」「1995年、阪神・淡路大震災」「2008年、リーマン・ショック」「2011年、東日本

大震災」。

ニクソン・ショック、オイル・ショックは、ともに2次まであったので、9回もの外的要因による大きなショックを筆者も体験している。

過去のショックでも日本企業は大きな打撃を受けたが、乗り切ってきた企業も多くある。とはいえ、淘汰された企業もこれまた数多くある。

今回のコロナ禍は、これまでのどのショックよりも強いインパクトで経済界に、ダメージを与えることは間

違いないが、すべての企業がなくなるわけでない。では、生き残るために、どうすればいいのか。

筆者は、持てる経営資源

全体が「部分の総和」を上回る強い組織に

本来、会社組織の強みは、うまく機能すれば、「全体は部分の総和を上回る」ところにあるとされている。10人いて10の仕事しかでき

後には、この強みを活かす企業の数が増えてきているのではないだろうか。

なぜ、こんな状況に陥ったのか。

きないのであれば、組織にする必要はなく、10人いて10以上の仕事ができこそ、組織にする価値があるのだ。

しかし、現実はどうだろうか。筆者には、「全体は部分の総和以下」の企業が多いように思える。

筆者は、聖徳太子以来、日本人の持つ「和を尊ぶ精神」のマイナスイメージが出てきているからだ、と考えている。

「おおよそ戦をするには、天のとき・地の利・人の和があるが、天のときはどんなによくとも、地の利には及ばないし、地の利にはなによくとも、人の和には及ばない」と、孟子が指摘するまでもなく、和がなければ勝ち残ることはできない。

1980年代、「ジャパ・アズ・ナンパーワン」と評価されていた頃の日本企業の強みは、「組織力」にあるとされていた。

では、最も大事な和とは、どういう意味なのか。聖徳太子がお手本にしたと思われる「論語」には、次の記述がある。

「君子は和して同せず、小人は同じて和せず（人の上に立てる人は調和はするが、同調はしない。ダメな人は同調はするが、調和しない）」

昨今、指摘される日本企業の生産性の低さの原因は、ここにあると思える。

筆者が出会った経営者で、もっとも組織の強みと弱みを熟知し、組織力を発揮することに長けていたのは、沖縄の「サンエー」の創業者、折田喜作さんだった。

今回のコロナ禍は、これまでのどのショックよりも強いインパクトで経済界に、ダメージを与えることは間

折田さんは20年以上前にお亡くなりになったが、自前で後継経営者チームを育て、いまでは、2000億円近くを売上げ、一部上

太子がお手本にしたと思われる「論語」には、次の記述がある。

「君子は和して同せず、小人は同じて和せず（人の上に立てる人は調和はするが、同調はしない。ダメな人は同調はするが、調和しない）」

和とは、相手の意見に合わせて同調することではなく、主体性を持った個人が調和することのだが、最近の日本では、もめないところが和だと勘違いしている人が多いのではないか。

筆者が出会った経営者で、もっとも組織の強みと弱みを熟知し、組織力を発揮することに長けていたのは、沖縄の「サンエー」の創業者、折田喜作さんだった。

筆者が出会ったのは、30数年前で、年商は50億円程度だったと記憶している。

折田さんは20年以上前にお亡くなりになったが、自前で後継経営者チームを育て、いまでは、2000億円近くを売上げ、一部上

場企業として、流通業では群を抜いた好業績企業になっている。

その成長の原動力になっ

成長は、上限目指すチャレンジにある

「組織プレーだからといって、個人個人が力を発揮しなくていいということではない。組織プレーの言葉に甘えて、自分一人ぐらい手を抜いても大丈夫、自分一人ぐらい責任逃れをして、も大丈夫と思う心があれば、その人も組織もダメになってしまう。

組織プレーで気をつけなさいといけないのは、甘えの構造の中にどっぷりと浸かってしまうこと。仲間意識を組織の中に、はびこらせることだけは、どんなことがあっても避けなければならぬ。

組織プレーで、甘えの構造が出てくると、どうしても低いレベルで仕事を進めるようになってしまう。低いレベルでの組織プレーは、

たのが、「組織力」なのだ。少し長くなるが、折田さんの組織プレーについての考えを紹介したい。

なんの成果も生まない。

常に、上限を目指してチャレンジすることが、成長をもたらしてくれる。上限を目指せば目指すほど、苦しいことが多くなるだろうが、その苦しみを乗り越えることで、人と組織は成長するのだ。

全社員が、協調の精神のもと、お互いに上限を目指して、切磋琢磨することで組織プレーの効果は高まる」

如何だろうか。実的に確に組織プレーの本質を突いている。言うまでもなく、どんなに優秀な経営者でも、優秀な社員にしても、一人の能力には限界がある。その限界を打破するのが、組織の力なのだ。

折田さんの指摘にもある

ように、組織力だからといって、個人の力を無視しろということではない。

とくに中小企業の場合、個人の力で業績を伸ばすケースが圧倒的に多い。

生産性を考えても、手慣れた人が手慣れた仕事をやるのが一番いい。会社が小規模な頃は、仕事が属人化していることで成長を手にするのだが、いつまでもそんな状況が続けていけば、いずれは衰退してしまう。属人化しているということは、その人間がいなければ、その仕事を手際よく処理

理できないことを意味している。

その人間がいなくなれば、その仕事そのものを失いかねないので。

そこで、考えないといけないのは、属人化していた仕事を、時間とともに組織でこなすようにすることだ。

企業が成長する過程で、もっとも難しいのが、属人化していた仕事を属組織化し、組織力を引き出すことなのだが、持続的成長を可能にするためには、なんとしても成し遂げないといけないと考えていただきたい。

組織の力を最大化するためには…

折田さんが、組織の力を目を向けるきっかけになった出来事についても記しておきたい。ちなみに、折田さんは昭和2年、沖繩の宮古島生まれ。

「わたしが20代の頃のことです。

当時の運動会は、弁当や菓子、果物などを持参した

を見てください。紙くずやちり紙が散らかっています。みんなで拾って、くずかごに入れてください。また、使った机やイスは、元の場所に戻してください」。

ごみは至る所に山積みになっていて、これは大変な作業になるな、と感づいたところ、大勢のことですから、実際はアツという間にきれいになりました。

この時、わたしは『これこそ生きた教育だ』と感動してしまいました。一人であれば、5時間あるいは10時間かかったかもしれないところ、みんなが協同すれば、ほんの数秒でできる。

以来、この時の体験を『ひとりの10時間、みんなの1秒』というスローガンにして、社内教育および経営の場に活かしてきました」

組織の力は、同じ目的のために、同じタイミングで取り組めば、最大化するということもご理解いただきたい。

『ご父兄の皆さん、周囲



1 アフターコロナは「縮充社会」

天明 茂

公認会計士
宮城大学名誉教授

野原となった都市を、近代都市に生まれ変わらせた。

経済面では、大量生産システムに品質管理やマーケティングの知恵と心を結集させて、未曾有の経済高度成長を成し遂げた。

今回の新型コロナも「乗り越える」ことが必要である。コロナで学習したことは、少なくない。ZOOMは極めて短期間に普及し、

リモートワークが仕事の仕方を変えた。職住一致による家族の新たな関係性が構築されつつあり、交通渋滞や鉄道混雑の緩和にもつながる。

AIの活用によるオンライン学習は、教育の質を大きく変える可能性がある。都会集中生活から地方への分散が進めば、新たな社会が開かれる。

環境を破壊し、幾つかの生物を絶滅に追い込んできたのである。

そして今、命はつながりであること、人間は漁網の網の目の一つに過ぎないことに気づいたのである。

蛍の結び目が解ければ人間の結び目も解けるし、メダカの結び目が解ければ人間の結び目も解けてしまう。

人間も多くの生き物の繋がりで生かされている、たった一つの命に過ぎないことを、再確認して行動することを教えられている。

アフターコロナのキーワードは「縮充」、すなわち「縮むけど充実させる」社会づくりである。

人口減少もあり、経済規模は間違いなく縮小する。

しかし、生活の質を落とすことは許されない。いつそう住みやすい社会にすべく、企業は経営内容を充実させ、市民や働く人の「満足度」「幸せ感」を高めなければならぬ。

このために大事なことは

「コロナ前」に戻そうと考えるのではなく、コロナを乗り越えて、新たな世界を作るのである。

日本の100年、大きな変革は、明治維新、敗戦、そして今回は、新型コロナという3度目の節目である。

明治維新は、鎖国時代で後れをとった科学技術や資本主義制度を、外国から導入して近代国家を作り上げた。

敗戦は7年間という占領下の苦難を乗り越え、焼け

2 新型コロナのメッセージ

世間は、「新型コロナウイルスと闘う」「ウイルス戦争」と言うが、新型コロナウイルスは本当に「敵」なんだらうか？

コロナは567。太陽のコロナは王冠の意味。仏教で言われる、56億7千万年後に衆生を救いに降りて来ると言われる弥勒菩薩も567。

単なる数字の語呂合わせかもしれないが、新型コロナ

ウイルスは、こうした状況に対するサムシング・グレート（偉大なもの）と思えてならない。

コロナの第1メッセージは、「万物の霊長という錯覚に気づけ」である。

宇宙に存在するものは、すべてが繋がっている。

しかし私たちは、人間がピラミッドの頂点にいと誤解してきた。人間中心の生き方が地球

第2は、「共生・共益の生き方に戻れ」である。

顧みれば、人類500万年の歴史のうち、499万年は飢えと寒さを克服するための共生・共益の時代だった。

それが、この1万年の間に競争社会となり、利己主義が地域紛争、経済戦争を招いてきた。

企業は、自社の成長発展

だけを目指すことなく、利害関係者との共益経営を目指す必要がある。

第3は、「宇宙の分身としてふさわしい生き方をせよ」である。

3 西洋から東洋への回帰

「変化の時は原点回帰することが鉄則である。

いま、社会の潮目は、確実に西洋思想から東洋思想に移ってきている。

社会は「競争・弱肉強食社会」から、誰もがそれぞれの居場所で自己実現できる「共生・共存社会」に移りつつある。

会社は、これまでの株主利益至上ではなく、「地域と共に生き、地域の困りごとを解決する企業」が評価されるようになった。

そもそも、企業の目的は社会的課題の解決にあり、利益の獲得はその結果に他ならない。近江商人の「三

人は誰でも、宇宙の分身としてこの世に生を受けている。

天から与えられた使命をしつかり自覚して天命に生きよとのメッセージである。

方よし」は、そのことを教えている。

2024年から、一万円札の肖像画に登場する渋沢栄一の代表的著作「論語と算盤」は、「論語と算盤が車の両輪」というより、「論語の上にはか算盤を乗せてはいけない」と言っているのである。

論語で経営すれば、自分の欲得が出てくるはずがない。

出てくるのは「公」であり、「社会」であり、「国家」である。

渋沢が設立に関わった膨大な事業が、みな社会的事業であることを考えれば、

論語の上に載せる事業は「社会的課題を解決する」ものでなくてはならない。

この結果として、算盤が合う、そういう経営である。

CSR（企業の社会的責任）やCSV（共有価値の創造）に取り組む企業が多いが、「三方よし」「論語と算盤」は、この思想を先取りしていることに誇りをもち、実践したい。

こうした経営に求められる人財育成の目標は、勝ち抜くことを主眼に置いた「自己主張型人間」でなく、他の幸せを我が喜びと出来る謙虚で優しい「利他的人財」

西洋から東洋への回帰は「日本の心」への回帰に行きつく。

「日本の心」を端的に言い表すことは難しいが、江戸時代末期から明治初期にかけて、日本を訪問した外

である。もちろん、家庭を犠牲にする「会社第一人間」ではない。

「家族の期待を満足させる良い家庭人」が、職場でも健全な人間関係を築くことができ、仕事もできるビジネスマンが理想像となってきた。

組織は、ピラミッド型からフラット型で、リモートワークにふさわしいネットワーク型組織に、また、仕事の進め方や意思決定は「理性・論理」ではなく、「直感・感性」が重要になってきた。

国人の日本人評価が「日本人らしさ」を代表しているように思われる。

「質素だが満足している」「金銭よりも大切なものを知っている」「相手を思いやる」「苦勞をいとわない」

「犯罪をしない」などなど。日本の近代化は、「和魂漢才」「和魂洋才」で始まった。

しかし、明治維新に「才」を取り入れることを急ぐあまり、「和魂」を置き忘れてしまったようだ。

「和魂」は「大和魂」であり、「古来から日本人に根ざしていた精神」である。「和魂」は、神道における概念で、「荒魂（あらたま）」と、「和魂（にぎたま）」の2面を持つという。荒魂は活動的で勇猛、剛健な作用に対して、和魂は主として神霊の静的で穏和な作用、徳用を指す。

従って、和魂は「勇敢で潔い精神」と言える。「縮充」社会を実りあるものにするために、「共生・共益の循環型経営」を実践するとともに、社員一人ひとりの根底にある「和魂」を引き出すことを心がけよう。

4 日本の心は「和魂」



納税表彰

去る十一月十一日、令和二年度納税表彰として当会山本富士男副会長が気仙沼税務署長表彰を受け、気仙沼税務署中野署長から表彰状と記念品が贈られた。

山本副会長は、多年にわたる法人会活動を通じて税知識の普及、申告納税制度の発展及び高揚に多大な貢献を果たした功績が認められた。

気仙沼税務署の中野署長は「申告納税制度は国家財政の基盤を支える重要な仕組みです。その制度発展は法人会活動における皆様の献身の賜物であり、永年に亘るご尽力に対し深く感謝申し上げます。今後とも、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます」と述べた。



税制改正要望陳情

去る十二月二日、熊谷会長、岡本副会長、菅野税制委員長、加藤専務理事が気仙沼市役所を訪ね「令和三年度税制改正及び行財政に関する要望書」を菅原市長、菅原市議会議長、千葉市議会議副議長それぞれに手渡し陳情した。

この要望書は、全国の各法人会からの意見・要望を全国法人会連合がまとめたもので、コロナ対策と経済活性化の両立を図る効果的支援の要望など法人会の総意として、政府・政党・関係各省庁等に対してその実



現を求めている。税制改正に関するスローガンは次の通り。
 ● コロナ禍における厳しい経営環境を踏まえ、中小企業に実効性ある支援と税制措置を！
 ● 厳しい財政状況を踏まえ、コロナ収束後には本格的な税財政改革を！

なお地元選出の国会議員、小野寺五典衆議院議員にも同要望書により、実現するようご尽力を願った。

女性部会事業活動

女性部会では九月から十二月にかけて月一回のペーシングランチ会を行う計画を立てており、去る十二月十七日にその最終回に当たる「クリスマスランチ会」を開催した。

ランチに先立ち、明治時代に建てられた洋風建築物で文化財としても貴重な気仙沼カトリック教会の聖堂を会場として、メキシコ出身のロペス神父様からクリスマスにまつわる講話をいただいた。

講話の中で神父様のオルガンの伴奏に合わせ「しずけき(きよしこの夜)」等のクリスマス聖歌を合唱する場面もあり、心が和んだ。また、新型コロナウイルスの感染拡大に苦しむ世界中の全ての人々へ思いを寄せ、この危機を乗り越えられるよう皆で祈りを捧げた。

講話の後にはアコーディオンの名手でもある神父様が「ジングルベル」「あわて



今回のランチは持ち帰りを目指し、安全な事業活動を模索していきたい。

法人会はよき経営者を目指すものの団体として会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営および会社の健全な発展に貢献します。

正しい税知識をはじめ企業経営に求められる知識や情報を提供する為、セミナーや講演会を開催し、経営者自身や幹部社員・各部門担当者の人材育成にもお

役に立っています。

また、常に企業の立場で全国の会員の声を集結し、大局的見地から税制改正について強く意見活動が続けており、仲間が多いほど大きな実りがあります。

お知り合いの事業所で、まだ会員になっていない方がおありでしたら、是非ご紹介ください。



未加入企業を
ご紹介ください
—— 会員募集中 ——

新春講演会のご案内

なんあ ー ありがた

『「難有り」は有難い』

講師：上甲 晃 氏

松下政経塾元塾頭・志ネットワーク 代表

- ◇日時：2月2日(火) 午後4時～午後5時30分
- ◇会場：サンマリン気仙沼ホテル観洋
- ◇会費：無料

◆参加ご希望の方は事前に事務局までお申し込みください。

後援：気仙沼市・気仙沼商工会議所
本吉唐桑商工会・南三陸町商工会



※ご参加の際はマスク着用及び手指の消毒の徹底にご協力をお願いいたします。
※コロナ感染状況によっては、急遽中止・変更をすることがあります。

主催：公益社団法人気仙沼法人会 《電話・Fax 22-9107》

法人ニュース広告募集

当会では年4回(5、7、10、1月)会報を発行しております。

配布対象先は気仙沼・唐桑・本吉・歌津・志津川に事業所のある会員と関連団体です。

広告の掲載をご希望の方は事務局までご連絡ください。(22-9107)

名刺・伝票・ハガキ・ラベル・会報等々
—— 最短納期でお応えします ——

目隠しシール「情報守くん」、省資源対策「往復封筒」等
自社開発商品もごぞいます。

双葉印刷株式会社

〒988-0866 宮城県気仙沼市内松川41-1
TEL(0226)25-8215 FAX25-8216
http://www.futaba-insatsu.co.jp

謹		賀		新		年	
						五十音順	
 <p>株式会社 白真倉庫 倉庫業・運送業 代表取締役 臼井真人</p> <p>本社 気仙沼市長磯二本松一八一二 〒九八〇一三六 電話 〇三三二五一九〇〇番 大谷倉庫 気仙沼市本吉町石川原三五二一 仙台港倉庫 仙台市宮城野区港四丁目五二 岩沼臨空倉庫 岩沼市空港南一丁目三一</p>	<p>電気設備工事設計施工 有限会社 石川電気商会 代表取締役 石川雅治</p> <p>気仙沼市八日町一丁目五番六号 電話 〇三三二六二二一〇一三一 FAX 〇三三二六二四一〇九四七</p>	 <p>建設で創造する豊かな社会 株式会社 阿部伊組 代表取締役 阿部隆</p> <p>本社 南三陸町歌津字港一七五二 TEL 〇三三三六一三三一</p>	 <p>株式会社 足利本店 代表取締役 足利宗洋</p> <p>気仙沼市港町五の二 電話 〇三三二二一六一二番 FAX 〇三三二二五一一三〇二番</p>				
 <p>熊谷電気株式会社 電気設備工事・消防施設工事・電気通信工事 代表取締役 熊谷光良</p> <p>〒九八八〇〇六六 気仙沼市東新城一丁目二二 電話 〇三三二二一〇八四九 FAX 〇三三二二一〇七四九</p>	<p>株式会社 菅野ビジネスセンター 代表取締役会長 菅野勉 代表取締役社長 菅野秀寿</p> <p>住所 気仙沼市三日町三一―二二六 〒九八八〇八五 電話 〇三三二二一六六四番</p>	 <p>株式会社 カネガイ 代表取締役 佐藤亮輔</p> <p>気仙沼市川口町一丁目一〇〇番地 電話 〇三三二二一四八〇番</p>	 <p>株式会社 小野良組 代表取締役社長 小泉進</p> <p>本社 気仙沼市南町四一―一 電話 〇三三二二二六〇〇 仙台支店 仙台市青葉区広瀬町八一―二 バルボート広瀬三〇六 電話 〇三三二二六二一五〇〇</p>				
<p>造船技術と建築を融合する 株式会社 高橋工業 代表取締役 高橋和志</p> <p>〒九八八〇二四七 宮城県気仙沼市波路上内沼三八一四 電話 〇三三二二七一三九四三 FAX 〇三三二二七一四六一三 URL http://www.takahashikogyo.com E-mail master@takahashikogyo.com 国際標準規格 ISO9001 認証登録工場</p>	 <p>ジー・ピーマート 気仙沼市中みなと一―一六 電話代表 〇三三二二一三五二七 FAX 〇三三二二一三五一九</p> <p>■営業時間 通常 午前9時30分～午後5時30分 十二月～三月 午前10時～午後5時30分 ■定休日 日曜日・祝日</p> <p>取扱商品 紙製品・パッケージ(包材)・雑貨・業務品</p>	 <p>気仙沼信用金庫 理事長 菅原務</p> <p>気仙沼市八日町二丁目四一―一〇 電話 〇三三二二一六八三〇番</p>	<p>アフラック 法人会厚生制度募集代理店 (有)ケイフク保険企画</p> <p>気仙沼市松崎柳沢二八八―二〇〇 ブイザール 〇三三二一八一五八〇二 FAX 〇三三二二四一四九五七</p>				
<p>有限会社 山本セメント 代表取締役 山本富士男</p> <p>〒九八八〇七二五 宮城県本吉郡南三陸町字沼田一五〇―一五 電話 〇三三二二四六一三〇四 FAX 〇三三二二四六一六〇二</p>	<p>株式会社 丸和 代表取締役社長 尾形和優</p> <p>本社 気仙沼市南郷七―十三 TEL 〇三三二二一三〇八五</p>	<p>株式会社 沼正工務店 代表取締役社長 沼倉正也</p> <p>本社 千九八六―〇七七四 宮城県本吉郡南三陸町志津川字小森七―三 TEL 〇三三二二四六一二二一五 FAX 〇三三二二四六一六六八五</p>	 <p>大同生命保険(株) 仙台支社 石巻営業所</p> <p>石巻市殿町三一―一五 太陽生命石巻ビル5F TEL 〇三三二二一五五五― FAX 〇三三二二四一五三三〇</p>				